

ピクノジェノール（フランス海岸松エキス）の多様な機能性について

金沢大学大学院 医学系研究科
臨床研究開発補完代替医療学講座
特任教授 鈴木 信孝

ピクノジェノール pycnogenol とは、フランス海岸松樹皮（French maritime pine bark）から抽出したプロアントシアニジン系を主成分とする食品抽出物である。アメリカのサプリメントランキングでは常に上位を占め、世界各国で幅広く利用されている食品である。

ピクノジェノールはアメリカにおいて食品の安全性認定である GRAS 基準 (Generally Recognized As Safe) を取得しており、臨床試験も数多く行われており、基礎的知見も非常に豊富である。

ピクノジェノールの作用としては、抗酸化作用が最も研究されており、そのほか抗炎症作用、末梢血管拡張作用、血小板凝集阻止、ビタミンCの生体内作用に対する増強作用、末梢血管抵抗減弱作用、結合組織の補強作用、皮膚に対する紫外線損傷の防止作用などが知られている。さらに、臨床医学的には歯肉出血、老人の脳血流障害の改善、動脈硬化症による末梢血流障害、高血圧症、血栓予防、ADHD（注意欠陥多動障害）、糖尿病性網膜症、下肢の浮腫・静脈瘤・血栓症、喘息などのアレルギー性疾患、エコノミークラス症候群、変形性関節症、男性機能の低下・精子機能の低下について改善・治療の報告がある。なかでも、糖尿病性網膜症に関してはヨーロッパにおいて医薬品 (OTC) としても認可されてきた。

また、最近、婦人科領域で子宮内膜症、月経困難症に対する有効性も報告されており、我が国においては100名以上の被験者を対象とした大規模2重盲検臨床試験も実施されている。加えて、台湾では更年期障害に対する効果に関する臨床試験が実施され、近年、その幅広い食効に注目が集まっている。

副作用としてはまれに胃痛や湿疹など軽微なものがみられる程度であり、機能性食品としては優れた素材であると言えよう。

今回は、ピクノジェノールの EBM について、わかりやすく解説する予定である。

共催：持田製薬株式会社